

報告事項才

鳥取県ちいわか総選挙の開票結果について

鳥取県ちいわか総選挙の開票結果について、別紙のとおり報告します。

令和8年8月6日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

鳥取県ちいわか総選挙の開票結果について

令和8年8月6日

小中学校課

鳥取県における主権者教育の試みとして、昨年度から県内の小学6年生と中学3年生の児童生徒を対象に実施している「鳥取県ちいわか総選挙」について、令和8年7月8日（水）に、開票結果が発表されたので、報告します。

※ちいわか…地域とつながり、地域に愛着を持ち、地域のことを我が事ととらえて、積極的に投票その他政治参加する若者

1 鳥取県ちいわか総選挙

鳥取県の主権者教育プログラムとして、小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部6年生、中学校・特別支援学校中学部3年生・義務教育学校9年生の児童生徒を対象に、鳥取県の施策等に関するオンライン投票を全県で実施。

2 総選挙の流れ

- ①県内の小・中・義務教育学校、特別支援学校に教材を配布
- ②各学校において教材を活用し、授業・オンライン投票を実施
- ③投票結果を公表し、最多得票を得たものは実際に鳥取県の施策等に反映

3 令和8年度投票テーマ

「ぼうさいこくたい」を契機とした地域の防災力向上について

本年度は、令和8年10月に本県で開催される「防災推進国民大会（通称：ぼうさいこくたい）」に合わせた内容とした。災害への備えである「自助」「共助」「公助」はいずれも不可欠な要素ではあるが、それぞれの利点と難点を示すことにより、児童生徒がそれぞれの日常生活を振り返りながらどの要素を最優先とすべきか授業の中で教材を活用しながら考え、オンライン投票を行った。

4 選挙結果

対 象	・小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部6年生 ・中学校・特別支援学校中学部3年生、義務教育学校9年生
投票期間	令和8年5月11日（月）から6月30日（火）まで
投票率	【小学生の部】69.4%（3,210人／4,628人） ※70.9%（R7） 【中学生の部】57.7%（2,843人／4,928人） ※68.4%（R7）
公立学校参加率	【小学生の部】89.7%（104校／116校） ※86.3%（R7） 【中学生の部】83.9%（47校／56校） ※94.6%（R7）
開票結果	【小学生の部】 自 助（自分や家族で備える） 1,288票（40.1%） 共 助（地域の人と助け合う） 1,491票（46.5%） 公 助（社会のしくみや情報を使う） 431票（13.4%） 【中学生の部】 自 助（自分や家族で備える） 1,205票（42.4%） 共 助（地域で助け合う力を高める） 1,168票（41.1%） 公 助（社会の仕組みや情報を使う） 470票（16.5%）
結果活用	本選挙結果は、「ぼうさいこくたい」において、選挙結果を反映したパネル展示や自助にちなんだ防災バッグの荷づくり体験のワークショップの実施などに生かされる予定である。

5 授業を行った教員の感想（事後アンケートより）

- 社会科の学習だけでなく、国語（東京書籍）の「いざという時のために」という単元において、防災についての提案書を作成していたところだったので、学習を結び付けて行うことができた。
- 自助、共助、公助の視点でそれぞれの役割を確認できたこと、それぞれが重要な役割を果たしていることに気づけたことが大きかった。また、それぞれが役割を果たすことで、他のものにつながってくることもおさえることができた。
- 新聞報道があった後で総選挙をした。子どもたちの中には、自分たちもちいわか総選挙ができると喜んでいて、同じ意見の子どもたちが集まって話し合ったり、違う意見の子どもたちと意見を交流したりすることで、その後意見が変わった子どもたちもいた。社会の学習とも関連しており、いい取組だと思う。
- △選挙の投票内容「防災」に関して、3つの考えがどれも大切であると思う児童が多く、決めにくそうであった。自分なりの観点を持って悩んで決めるという点では、児童は悩み、自分なりの考えのもと選び、投票できていたので良かったと思うが、担任としては、授業でどれも大切であると教えていることもあり、どれかひとつを選ぶような選挙の投票の内容としては、どうなのかなとも感じた。
- △選挙なので、自助・共助・公助それぞれを推進している人を投票する、というような形式の方が、本来の選挙により近く、投票しやすかったのではないかと考えた。
- △社会科の指導内容の量と授業時間数の事情や、運動会や修学旅行などの学校行事や委員会の運営等を考えると、ちいわか総選挙の指導の時間をつくるのが1学期は特に難しく感じた。



投票
ありがとう
ございました



投票テーマ

『ぼうさいこくたい』をきっかけに
地域の防災力をアップしよう！

じじょ
自助

(自分や家族で備える)

1,288票 得票率
40.1%



きょうじょ
共助

(地域の人と助け合う)

1,491票 得票率
46.5%

こうじょ
公助

(社会のしくみや情報を使う)

431票 得票率
13.4%

有権者: 4,628人 (鳥取県内小学校・義務教育学校・
特別支援学校小学部6年生)

投票率: 69.4%

今回の総選挙では、災害があった時に自分が大切だと思う行動を、授業
の中で話し合い、投票してもらいました。

皆さんが投票してくださった、ちいわか総選挙の結果を踏まえ、
10月17・18日に開催される「ぼうさいこくたい」でのブース設置や
今後の県の防災に関する事業に反映していきたいと考えています。

皆さんには「自助」「共助」「公助」といった言葉にあまりなじみがなかった
かもしれませんが、災害が起きたときにどんな心配があるか、考えながら
自分の意見を決めていく大切な経験になったと思います。

18歳になれば、身近なことを決めたり、政治を行う人を選ぶとき、選挙
に行き、投票することができます。
一人ひとりの投票で何かを決める経験をこれからも覚えていてください。

大人になったら選挙に行こう。「自分へと、必ずつながるその1票。」

鳥取県 2026

ちいわか

開票結果

総選挙



投票
ありがとう
ございました



投票テーマ

『ぼうさいこくたい』を契機とした
地域の防災力向上



じじょ
自助

1,205票

得票率
42.4%

(自分や家族で備える)

きょうじょ

共助

1,168票

得票率
41.1%

(地域で助け合う力を高める)

こうじょ

公助

470票

得票率
16.5%

(社会の仕組みや情報を使う)

有権者: 4,928人 (鳥取県内中学校3年生・義務教育学校9年生・
特別支援学校中学部3年生)

投票率: 57.7%

今回の総選挙では、災害があった時に、自分が大切だと思う行動を、授業の中で話し合い、投票してもらいました。

皆さんが投票してくださった、ちいわか総選挙の結果を踏まえ、10月17・18日に開催される「ぼうさいこくたい」でのブース設置や今後の県の防災に関する事業に反映していきたいと考えています。

皆さんには「自助」「共助」「公助」といった言葉にあまり馴染みがなかったかもしれませんが、災害が起きたときにどんな心配があるか、考えながら自分の意見を決めていく大切な経験になったと思います。

18歳になれば、身近なことを決めたり、政治を行う人を選ぶとき、選挙に行き、投票することができます。

一人ひとりの投票で何かを決める経験をこれからも覚えていてください。

大人になったら選挙に行こう。「自分へと、必ずつながるその1票。」